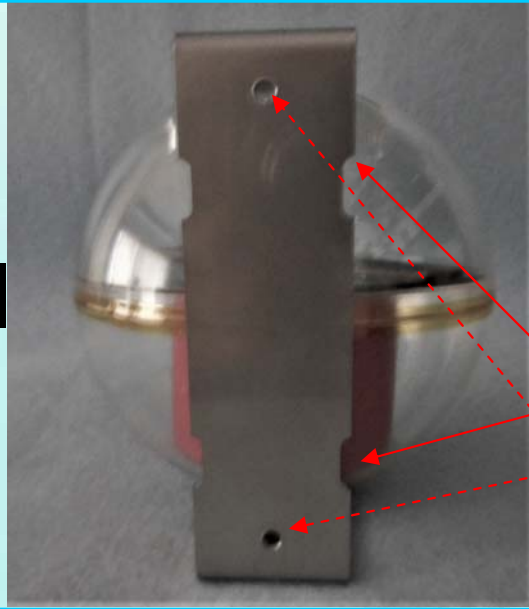


設置方法(ご参考)

フラッシュ灯



付属品 結束バンド×2本
(最大結束径229mmφ)



結束バンドをご利用されるときは、このクビレ箇所をご活用ください。

M4のネジ穴が2か所あります。必要に応じてご活用ください。

送信機(レスキュー太郎)



送信機には、端面に↑の表示があります。この面を上にして取り付けください。

ベース金物には、底面に7mmφの穴4か所、側面に10mmφの穴4か所があります。送信機固定用にご活用ください。

(重要事項)

- 無線機は工場で設定し出荷しますので、お客様側で無線機の設定を行う必要はありません。
- 送信機と受信機はペアで設定されています。別の送受信機との組み合わせでは動作しませんのでご注意ください。
- 送信機には、端面に↑の表示があります。この面を上にして取り付けください。逆に取り付けられた場合、検知位置が約10cm低水位側になります。
- 送信機↑を、検知水位の-3cm程度下に取り付けてください。
- 送信機金具固定用のアンカー等は付属しておりません。お客様でご用意ください。
- 送信機は受信機から見える位置に配置して下さい。送信機が見えない(電波が遮蔽される)位置の時、受信機はフラッシュ点灯を開始します。送信機を戻せばフラッシュは停止します。
- 水位が上昇して送信機が水没してから受信機のフラッシュ点灯開始まで、あるいは水位が下降し送信機が水から脱して受信機がフラッシュ消灯まで、送受信機間のタイミングズレで約2分程度要する場合があります。
- 7)の動作中では、波の影響で時間が変動する場合がありますので、ご了承ください。

水圧スイッチ(レスキュー次郎)



フラッシュ灯接続電線。擁壁などに確り固定してください。固定用サドルは付属していません。お客様でご用意ください。電線はキャプタイヤ仕様で、外径4mmです。

水位検知ライン(目安)

付属品 PEサドル×2個
(内径16.7mmφ)



(重要事項)

- フラッシュ灯接続電線は、フラッシュ灯と水圧スイッチに接続された状態で出荷します。電線を伸ばすとき電線に捻じれ(キンク)を発生させないようにご注意ください。
- フラッシュ灯への電線はキャプタイヤ仕様で圧縮には強い構造ですが、なるべく流水を含み外圧を回避できるルートを選定してください。流水中になる可能性のある場所に設置する場合は、ブロック陰など、直接流水に晒されない場所を選定してください。固定用サドルはお客様でご用意ください。
- 水位検知ラインは目安です。水圧スイッチをバケツに入れ、正確な動作範囲の確認も可能です。
- 水圧スイッチの固定は、付属のPEサドルか、プラチックのサドルを使用してください。金属製のサドルは使用しないでください。
- 水圧スイッチが波で洗われる時、フラッシュ灯が不規則に点灯、消灯を繰り返す場合があります。故障ではありません。ご了承ください。

私の防災

レスキューくん

Transcore

あなた自身の設定した水位に到達するとフラッシュ灯が自動で点灯を開始して、あなたに直接危険を知らせます。(水位は目安です)

レスキュー太郎(無線方式)



フラッシュ灯(受信機)



無線です!
無線SWとフラッシュ灯はペアを組んでいます。近くに別のレスキュー太郎を設置しても誤動作しません。

レスキュー次郎(有線方式)



フラッシュ灯



有線です

2~3cm水没で水位検知

水位検知(送信機)

水圧スイッチ

Transcore 株式会社 トランスコア

本社 〒114-0001 東京都北区東十条3丁目15番6号

TEL 03-5902-8711

FAX 03-5902-8712

{カタログNO T2006-032-1}

お問い合わせ、ご注文は下記を検索してください。

URL <http://www.transcore.co.jp/>

レスキューくん 検索